

## Toy Story 2

p.3

Andy played with his toys for one last time before summer camp. But Woody's arm was ripped.

Andy was sad because Woody was his favorite toy.

"Now I can't take Woody to camp!" he said.

アンディはサマーキャンプに行く前に、最後にもう一度、彼のおもちゃで遊びました。でもウッディの腕はちぎれていました。

ウッディはお気に入りのおもちゃだったのでアンディは悲しく思いました。

「もうウッディをキャンプに持っていけない！」と彼は言いました。

p.4

The next day Andy's mom wanted to have a yard sale. She looked for old toys in Andy's room and carried them outside in a box.

Oh no! Woody was in the box with the yard sale toys.

次の日、アンディのお母さんはヤードセールをしたいと思いました。彼女はアンディの部屋で古いおもちゃを探して、箱に入れて外に運び出しました。

しまった！ウッディはヤードセールで売るおもちゃ達と一緒に箱の中にいました。

p.5

Andy's toys watched the yard sale from the window. There was a man by the table. Andy's mom looked away and the man moved fast.

"He's putting Woody in his bag!" cried Buzz.

"He's taking our friend!"

アンディのおもちゃ達は窓からヤードセールを見ました。テーブルのそばに男がいました。アンディのお母さんがよそ見をしたらその男は急いで移動しました。

「彼はウッディをバッグにいれているぞ！」とバズが叫びました。

「彼は俺たちの友達を連れていこうとしている！」

p.6

Woody was afraid. The man carried him to his car.

A little later, Woody was in the man's apartment at the top of a tall building.

"I can't open the door!" he cried.

ウッディは怖いと思いました。その男はウッディを彼の車に運びました。少したって、ウッディは建物の最上階にあるその男のアパートにいました。「ドアが開けられない！」とウッディは叫びました。

p.7

Suddenly, a girl doll cried, "Woody, it's you!"  
Her name was Jessie. There was also a horse, and an old man in his box. His name was Stinky Pete.  
"How do you know my name?" Woody asked Jessie.

突然、女の子の人形が叫びました「ウッディ、あなたね！」  
彼女の名前はジェシーでした。馬、そして年寄りのおじいさんもまた箱にいれられていました。年寄りのおじいさんはスティンキーピートという名前でした。  
「どうして僕の名前を知っているんだ？」とウッディはジェシーにたずねました。

p.8

Jessie showed him.  
Woody was a famous toy! There was an old TV show about him. Jessie, Stinky Pete, and Bullseye the horse were also in the show.  
Woody was surprised, but it was nice to be famous.

ジェシーは彼に見せました。  
ウッディは有名はおもちゃでした！彼についての古いテレビ番組がありました。ジェシー、スティンキーピート、そして馬のブルズアイもまたその番組出ていました。  
ウッディはびっくりしましたが、有名なのは良いことだと思いました。

p.9

Woody asked about the man.  
"His name's Al," answered Jessie. "He wants to sell us to a museum in Japan."  
"I can't go to Japan!" cried Woody. "I have to go *home*."  
Jessie was sad and angry about that.

ウッディはその男についてたずねました。  
「彼の名前はアル、」ジェシーが答えました。「彼は私たちが日本の博物館に売るつもりよ。」  
「僕は日本に行けないよ！」とウッディは叫びました。「家に帰らないと。」  
ジェシーはそれについて悲しくて怒りを覚えました。

p.10

Woody started to leave through an air vent in the wall.

“Jessie’s sad because the museum has to have *all* of us or we *all* go back in storage,” Stinky Pete explained.

Woody stopped. Perhaps it was better to stay.

ウッディは壁にある通気口を抜けて去り始めました。

「その博物館は僕たち全員を所有するするか、それとも僕たち全員倉庫に戻るか、だからジェシーは悲しいんだ。」とスティンキーピートが説明しました。

ウッディは止まりました。きっとここにいたほうがいいでしょう。

p.11

In Andy’s room, the toys were in front of the TV.

“Look! It’s the man from the yard sale!” said Hamm.

“He’s in the commercial for Al’s Toy Store ... and there’s an address.”

アンディの部屋には、おもちゃはテレビの前にいました。

「見て！ヤードセールの人だ！」とハムが言いました。

「彼はアルのおもちゃ屋のコマーシャルにでていて・・・そしてそこに住所がある。」

p.12

The toys wanted to bring their friend home.

They climbed out of the window.

Then they walked a *long* way.

The roads were very dangerous.

“Look, *there’s* Al!” cried Buzz.

“He’s getting in the elevator of that tall building!”

おもちゃ達は友達を家に連れて帰りたかったのです。

彼らは窓をよじ登りました。

それから彼らは長い距離を歩きました。

道路はとても危険でした。

「見ろ、アルがいるぞ！」バズが叫びました。

「彼はあの高い建物のエレベーターに乗りこもうとしているぞ！」

p.13

The toys climbed up to Al’s apartment.

It was not easy. Buzz carried all his friends up.

After a long time, they arrived at the apartment.  
“I can see Woody!” cried Buzz. “Let’s get him NOW!”

おもちゃ達はアルのアパートに向かって登りました。  
それは簡単ではありませんでした。バズがすべての友達を運び上げました。  
長い時間がたった後、彼らはそのアパートに到着しました。  
「ウッディがみえるぞ！」バズが叫びました。「今助けだそう！」

p.14

The toys jumped through the air vent into the apartment.  
“You’re going home, Woody!” cried Buzz.  
“I don’t want to go!” Woody shouted.  
Buzz stopped.  
“Andy doesn’t want me,” explained Woody.  
“I’m staying here.”  
Buzz turned and walked away sadly.

おもちゃ達は通気口を飛び抜けてアパートに入りました。  
「家に帰るぞ、ウッディ！」バズが叫びました。  
「行きたくないよ！」ウッディが大声で叫びました。  
バズが止めました。  
「アンディは僕なんかほしくないんだ、」とウッディは説明しました。  
「僕はここにいるよ。」  
バズはくるりと向きを変え悲しそうに立ち去りました。

p.15

Woody was sad also.  
He listened to the words of a song on the Woody TV show. It was a song about friends.  
Woody jumped up.  
“I have to go home with my friends! And you can come with us!”

ウッディも悲しく思いました。  
ウッディはウッディテレビの歌の歌詞を聞きました。友達についての歌でした。  
ウッディは立ち上がりました。  
「友達と一緒に家に帰らないと！そして君たちも僕たちと一緒に来るんだ！」

p.16

“We can follow my friends through the air vent!” Woody cried.  
Stinky Pete was angry. He jumped in front of Woody and Jessie.

“Wait!” the old toy shouted. “You can’t leave now! I *want* to go to the museum!”

「通気口抜けて僕の友達についていけばいい！」とウッディは叫びました。スティンキーピートは怒りました。彼はウッディとジェシーの前に飛出しました。

「待て！」年老いたおもちゃが叫びました。「お前たちは今、出ていくことはできないんだ！おれは博物館に行きたいんだ！」

p.17

Suddenly, the door opened. Al was back in the apartment.

He started to put Woody, Jessie, Stinky Pete, and Bullseye into his case. He was ready to take them to the airport for the plane to Japan.

突然ドアが開きました。アルがアパートに戻ってきました。

彼はウッディ、ジェシー、スティンキーピート、そしてブルズアイを彼のケースに入れ始めました。彼は日本行きの飛行機のある空港に連れていく準備ができました。

p.18

Outside the building, Buzz and his friends were sad.

But then, Buzz cried, “Look! Al’s getting in his car with a case!”

Al started to drive away.

“How can we follow him?” the toys asked.

建物の外では、バズと友達が悲しく思っていました。

しかしそれから、バズは叫びました「見ろ！アルがケースと共に車に乗ろうとしているぞ！」

アルは車で走り去り始めました。

「どうやって彼についていくんだ？」おもちゃ達はたずねました。

p.19

The answer was easy.

There was a truck next to the road!

The toys jumped in.

With Buzz at the wheel, they followed Al’s car all the way to the airport.

答えは簡単でした。

道のとなりにトラックがありました！

おもちゃ達は飛び乗りました。

タイヤにしがみついたバズと共に、彼らはアルの車を空港までずっとついていきました。

p.20

At the airport, Al was at the ticket desk. His case was on the conveyor belt for the plane.

“Let’s go!” cried Buzz.

The toys jumped into a pet case and moved on to the conveyor belt.

空港では、アルがチケットカウンターにいました。彼のケースは飛行機のベルトコンベヤーにありました。

「行こう！」バズが叫びました。

おもちゃ達はペットケースに飛び乗り、そしてベルトコンベヤーを移動しました。

p.21

There were a lot of cases on the belt.

Which was the right one?

There!

Buzz opened Al’s case and Woody, Jessie, and Bullseye jumped out.

“Goodbye, Stinky Pete!” they cried.

“Have fun!”

ベルトコンベヤーにはたくさんのケースがありました。

どれが正しいんだろう？

それだ！

バズがアルのケースを開けるとウッディ、ジェシー、そしてブルズアイが飛び出しました。「バイバイ、スティンキーピート！」彼らは叫びました。

「楽しんでね！」

p.22

“Now you and Bullseye can be Andy’s toys, too.” Woody explained to Jessie.

She was very happy. “We can live with a child again!” she cried.

Woody smiled at his new friend.

“That’s right. Let’s go home!”

「さあ君とブルズアイもアンディのおもちゃだ。」ウッディはジェシーに説明しました。

彼女はとてもうれしく思いました。「私たちはまた子供と一緒に暮らせるわ！」と彼女は叫びました。

ウッディは新しい友達に笑いかけました。

「その通りだ。家に帰ろう！」